

①幸区の概要

■ 幸区の地勢

- 幸区は川崎市の南東部に位置し、北に多摩川、南に鶴見川、西に矢上川と三方を川に囲まれている。平地の多い幸区だが、区域北西部には夢見ヶ崎動物公園のある標高約35mの加瀬山がある。

■ 幸区の名前の由来

- 明治時代、区内の小向付近は梅の名所として有名だった。明治17年（1884年）に明治天皇がこの小向の梅林を御覧になられた。天皇陛下が外出なさることを「行幸」と呼ぶが、「御幸」とも書く。明治22年（1889年）に市制町村制が施行されたとき「御幸」村と名付けられた。「幸区」の名称もこのこと由来している。
- 幸区役所では令和6年（2024年）の市制100周年に合わせて、かつて名所であった「小向梅林」の復活を目指している。平成27年度から梅林の復活に着手し始め、順次植樹を行っている。

■ 幸区のシンボルマーク

- 幸区の頭文字「S」と無限大のマーク「∞」をイメージしている。二つの輪は、区民の深いつながりと伸びゆく情報発信を表し、地域の温かい人情と未来都市への無限の可能性にあふれた区を象徴している。



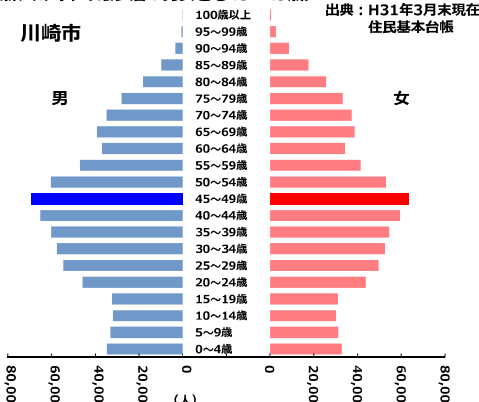
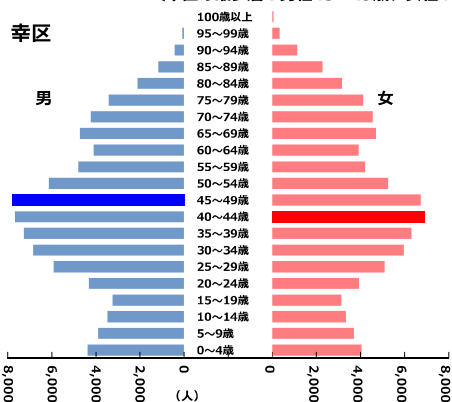
■ 幸区の区の花と区の花

- 昭和47年（1972年）に川崎市が政令指定都市に移行し、行政区として幸区が誕生して、平成24年（2012年）で40周年になった。これを記念して「ハナミズキ」が区の花、「ヤマフキ」が区の花に制定された。



③年齢別人口

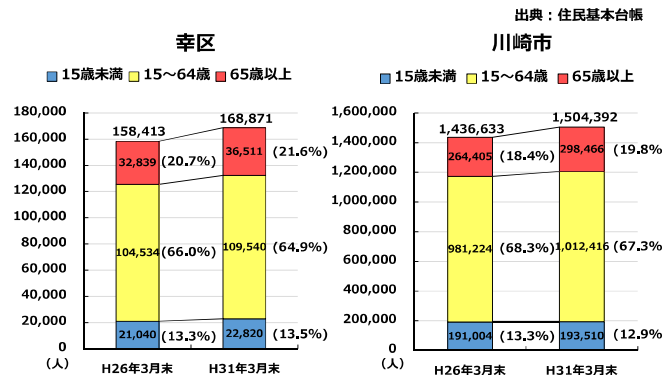
〔幸区の最多年齢層：男性45～49歳、女性40～44歳、川崎市の最多年齢層：男女とも45～49歳〕



出典：H31年3月末現在
住民基本台帳

④人口の推移（年齢3区分）

〔H31年3月末の幸区の年少人口割合及び高齢者人口割合は川崎市より高い〕



出典：住民基本台帳

⑤平均年齢

〔幸区の平均年齢は2番目に高い〕

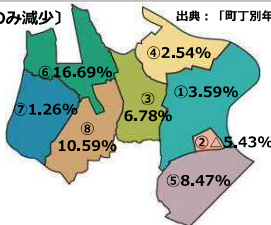
	総数	男	女
川崎市	43.4 歳	42.4 歳	44.5 歳
川崎区	44.5 歳	43.5 歳	45.6 歳
幸区	44.6 歳	43.3 歳	45.9 歳
中原区	41.0 歳	40.1 歳	41.9 歳
高津区	42.6 歳	41.6 歳	43.6 歳
宮前区	44.1 歳	43.0 歳	45.1 歳
多摩区	43.2 歳	42.0 歳	44.5 歳
麻生区	45.0 歳	43.9 歳	46.0 歳

出典：「川崎市年齢別人口」 H30年10月1日現在

⑥8地区別人口増減率

〔②御幸東第2地区のみ減少〕

出典：「町丁別年齢別人口」



	人口（人）		増減数	増減率
	H26年3月末	H31年3月末		
① 御幸東第1地区	27,937	28,941	1,004	3.59 %
② 御幸東第2地区	7,011	6,630	△ 381	△ 5.43 %
③ 御幸西第1地区	26,382	28,170	1,788	6.78 %
④ 御幸西第2地区	12,619	12,940	321	2.54 %
⑤ 南河原地区	25,862	28,053	2,191	8.47 %
⑥ 日吉第1地区	18,681	21,798	3,117	16.69 %
⑦ 日吉第2地区	19,394	19,639	245	1.26 %
⑧ 日吉第3地区	20,527	22,700	2,173	10.59 %

⑦年齢区分人口比率（上位5町丁）

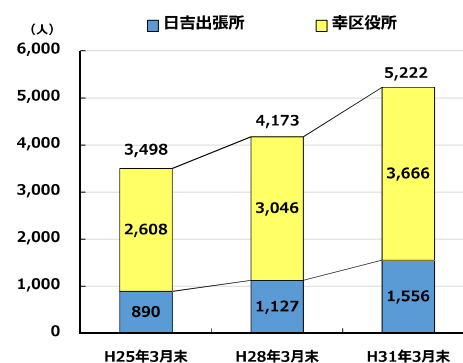
出典：「町丁別年齢別人口」

	H26年3月末現在			H31年3月末現在		
	町丁目	割合	地区	町丁目	割合	地区
65歳以上人口比率	1 河原町	49.4%	御幸	1 河原町	54.3%	御幸
	2 榎越1丁目	25.6%	御幸	2 小倉	30.8%	日吉
	3 東吉市場	29.2%	御幸	3 東吉市場	30.0%	御幸
	4 古市場2丁目	27.8%	御幸	4 古市場2丁目	29.1%	御幸
	5 都町	27.6%	南河原	5 古市場	28.6%	御幸
	(幸区平均)	20.7%		(幸区平均)	21.6%	
	(川崎市平均)	18.4%		(川崎市平均)	19.8%	
15歳未満人口比率	1 新川崎	30.2%	日吉	1 新川崎	30.1%	日吉
	2 神前町1丁目	22.4%	御幸	2 新小倉	26.3%	日吉
	3 芦幸本町2丁目	21.3%	御幸	3 榎越1丁目	21.4%	御幸
	4 小向仲町	19.7%	御幸	4 古川町	19.1%	御幸
	5 新藤原	19.4%	御幸	5 北加瀬2丁目	18.6%	日吉
	(幸区平均)	13.3%		(幸区平均)	13.5%	
	(川崎市平均)	13.3%		(川崎市平均)	12.9%	
5歳未満人口比率	1 新川崎	13.6%	日吉	1 新小倉	21.4%	日吉
	2 芦幸4丁目	8.2%	御幸	2 榎越1丁目	11.8%	御幸
	3 中幸町3丁目	8.0%	南河原	3 小倉1丁目	10.1%	日吉
	4 北加瀬2丁目	7.8%	日吉	4 鹿島田1丁目	9.5%	日吉
	5 榎原町	7.7%	南河原	5 北加瀬2丁目	7.5%	日吉
	(幸区平均)	5.0%		(幸区平均)	5.0%	
	(川崎市平均)	4.7%		(川崎市平均)	4.5%	

⑧幸区の外国人人口推移（管区別）

〔外国人人口は6年間で約49.3%増加〕

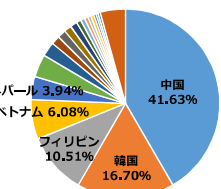
出典：「川崎市管区別年齢別外国人住民人口」



⑨幸区の国籍・地域別外国人市民の数

国籍・地域	外国人市民の数	割合
中国	2,174	41.63%
韓国	872	16.70%
フィリピン	549	10.51%
ベトナム	355	6.80%
ネパール	206	3.94%
インド	204	3.91%
台湾	128	2.45%
ペルー	79	1.51%
米国	75	1.44%
タイ	68	1.30%
朝鮮	61	1.17%
インドネシア	40	0.77%
ブラジル	39	0.75%
モンゴル	30	0.57%
ミャンマー	29	0.56%
フランス	28	0.54%
パングラデシュ	21	0.40%
カナダ	20	0.38%
ドイツ	20	0.38%
他の国籍・地域	224	4.29%
総数	5,222	—

出展：市民文化局
戸籍住民サービス課資料
H31年3月末現在

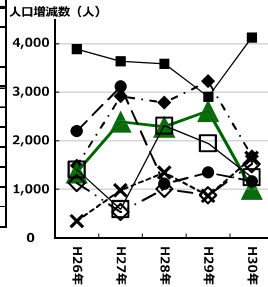


⑩人口動態

〔年ごとに順位に変動があるが、H30年の幸区の人口増数は7区で最も少ない〕



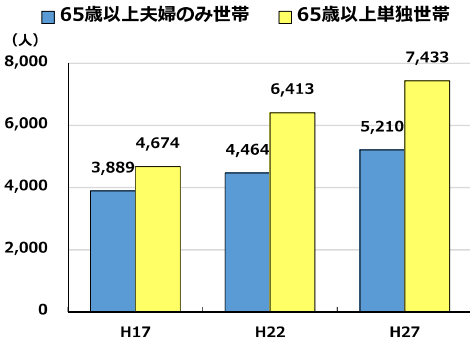
	H26年 人口増減	H27年 人口増減	H28年 人口増減	H29年 人口増減	H30年 人口増減 (A+D)	自然増減			社会増減		
						A (B-C)	B 出生	C 死亡	D (E-F)	E 増加	F 減少
川崎市	11,812	14,171	14,441	13,780	12,399	2,527	13,816	11,289	9,872	107,949	98,077
川崎区	1,487	2,918	2,785	3,226	1,680	△ 555	1,719	2,274	2,235	16,459	14,224
幸区	1,349	2,394	2,288	2,615	1,009	305	1,742	1,437	704	11,146	10,442
中原区	3,892	3,638	3,587	2,906	4,128	1,248	2,863	1,615	2,880	22,887	20,007
高津区	2,201	3,121	1,112	1,346	1,165	676	2,239	1,563	489	16,566	16,077
宮前区	1,407	589	2,313	1,945	1,245	477	2,009	1,532	768	14,016	13,248
多摩区	346	980	1,345	865	1,649	423	1,905	1,482	1,226	15,946	14,720
麻生区	1,130	531	1,011	877	1,523	△ 47	1,339	1,386	1,570	10,929	9,359



⑫幸区の65歳以上夫婦のみ・単独世帯の推移

〔65歳以上夫婦のみ：10年間で約33.9%増加〕
〔単独世帯：10年間で約59.0%増加〕

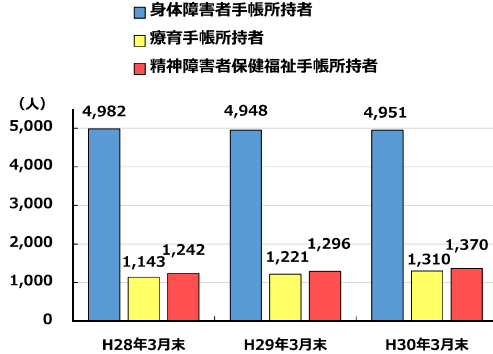
出典：国勢調査



⑬幸区の障害者数の推移

〔療育手帳所持者数及び精神障害者保健福祉手帳所持者数は増加傾向〕

出典：川崎市統計書



⑭土地利用状況

〔幸区は農地、山林が少ない〕

土地利用分類	幸区	項目								
		農地	山林	河川等	河川敷等	建築用地	公共空地	民間空地	その他の空地	道路用地
構成比〔%〕	川崎市	0.4%	0.4%	5.1%	2.3%	62.6%	3.9%	2.4%	4.4%	15.8%
	川崎市	4.0%	4.1%	3.7%	2.7%	61.4%	3.8%	0.9%	3.9%	14.1%

〔幸区は川崎市全体と比較すると集合住宅用地の割合が高く、また容積率も高く、土地が高度利用されている〕

H27年度都市計画基礎調査より作成

住宅用地分類構成比〔%〕	※1	幸区	川崎市
		戸建て住宅用地※3	55.7%
		集合住宅用地※3	44.3%
幅員4m未満道路延長率〔%〕	※1	20.7%	19.2%
建ぺい率〔%〕	※1	41.0%	36.1%
容積率〔%〕	※1	134.4%	95.9%
木造率〔%〕	※1	42.3%	42.0%
木造老朽率〔%〕	※1	53.6%	47.7%
空き家率〔%〕	※2	7.89%	9.20%

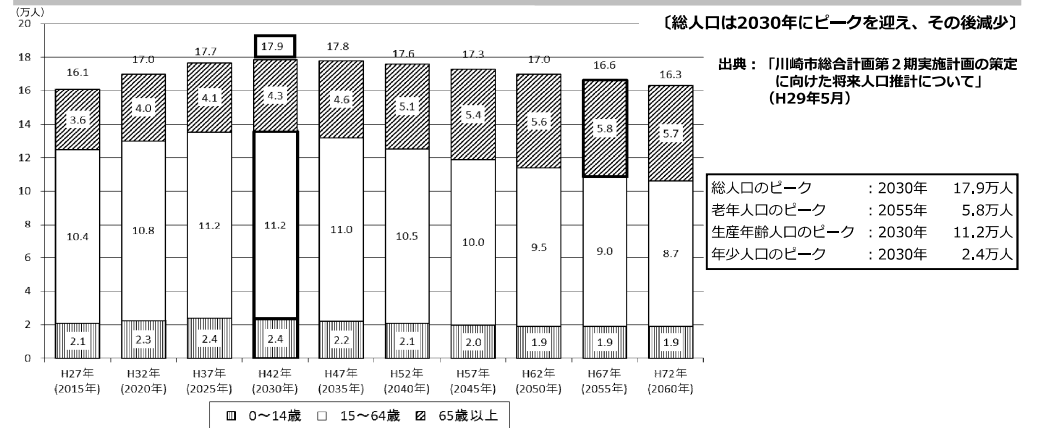
※1：H27年度都市計画基礎調査より作成

※2：H26年度水道使用状況からの調査結果

※3：店舗・作業所等との併用含む

⑮幸区将来人口推計

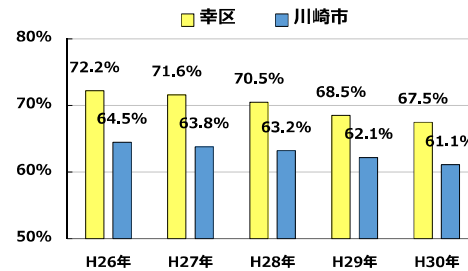
〔総人口は2030年にピークを迎え、その後減少〕



⑯町内会・自治会の世帯加入率

〔世帯加入率は幸区及び川崎市ともに減少傾向〕

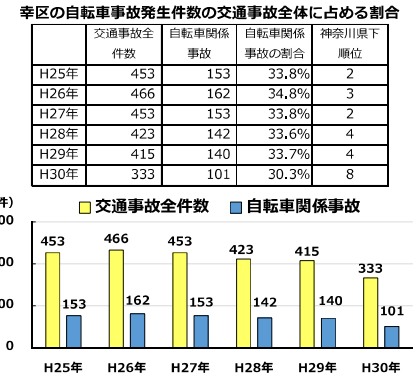
出展：市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課資料
（各年4月1日）



⑰幸区交通事故の特徴

〔幸区は自転車関係事故の割合が高い〕

出典：川崎市交通安全協会資料



⑱所有関係別住宅比率

〔幸区は公営住宅割合が7区で最も高い〕

	平成25年住宅・土地統計調査					
	持家	公営住宅	UR・公社	給付住宅	民営借家（木造）	民営借家（非木造）
川崎市	48.5%	3.2%	1.4%	2.6%	9.5%	34.8%
川崎区	46.0%	1.2%	2.0%	3.4%	8.7%	31.7%
幸区	50.3%	8.2%	3.1%	2.2%	9.5%	23.8%
中原区	40.6%	0.4%	0.6%	2.7%	8.5%	42.4%
高津区	41.5%	4.1%	0.4%	3.9%	9.5%	37.0%
宮前区	55.5%	5.9%	0.1%	1.3%	5.6%	26.9%
多摩区	41.0%	2.3%	0.3%	1.5%	10.8%	40.2%
麻生区	59.3%	1.2%	3.9%	1.7%	11.1%	20.0%

※市全体の構成比は不詳分を含む修正値

⑲公営住宅

〔幸区は公営住宅戸数が2番目に多い〕

	市営住宅戸数	県営住宅戸数	合計（戸）
川崎市	17,480	4,109	21,589
川崎区	1,281	156	1,437
幸区	3,862	1,674	5,536
中原区	696	95	791
高津区	4,585	705	5,290
宮前区	4,513	1,267	5,780
多摩区	2,080	56	2,136
麻生区	463	156	619

